

送辞

寒さもようやく和らぎ、あたたかい春の訪れを感じさせる今日の佳き日に、新たな門出を迎えられる皆様、ご卒業おめでとうございます。晴れて東雲を旅立たれる皆様に在学生を代表して、お祝いの言葉を申し上げます。

今皆様はこの松山東雲女子大学、短期大学での日々をどのように振り返っていますでしょうか。多くの人との出会いの中で様々な経験をし、それぞれの思い出を築き上げてこられたことでしょう。慣れないスーツと知らない人ばかりの入学式で期待と不安が混じり合っていたこと、清涼祭や東雲祭などの学校行事に積極的に参加しみんなで協力したこと、課題に追われながらもやり遂げたこと、苦労しながら実習ノートを書ききったこと、時にはぶつかり合いながらも仲間と共に部活の試合で勝利したこと、就職活動を励まし合いながら頑張ったこと、一つ一つが走馬灯のように思い出されることでしょう。

これらの中には、楽しいことや嬉しいことだけでなく、苦しいことや辛いこともあったかと思えます。しかし、これまでの経験は東雲だからこそできる夢への一步となることでしょう。

加えて、皆様の周りには皆様を支えてくださった多くの方がいらっしやっただと思います。辛い時にいつも傍にいてくれた友人、共に悩んでくださった教職員の方々、どのような時も応援してくれた家族、その方々の存在をどうぞ忘れないで

ください。そしてそのような皆様に支えられていた私たちは、決して皆様のことを忘れることはありません。皆様と過ごした時間や経験は私たちの誇りです。これからは私たちが皆様のような後輩から慕われる憧れの存在になれるよう精進いたします。そして、皆様が築かれたこの東雲の素晴らしい伝統を守り受け継ぎ、悔いのない大学生活を送るために、一層邁進してまいります。

これから皆様は、それぞれの道に進まれることと思います。社会人として感じたことのないプレッシャーに押しつぶされそうになることがあるかもしれません。そのような時は、どうぞこの東雲を思い出してください。進む道が違っても、この数年間ともに学び、ともに笑い、困難も一緒に乗り越えて培ってきた絆や思い出は必ず皆様の力になると信じています。

名残は尽きませんが、皆様のご健勝と今後のさらなるご活躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

二〇二〇年 三月十三日

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

在学生代表